

平成18年8月21日

第9回アドベンチャー in 多摩川 2006(8/21現在)

資料作成 保坂 俊晴

1. イベント概要

(敬称略)

イベント説明書の有無	有() 無() 関係者説明会 平成18年8月20日(日) 教育センター3F「ぎんが」
開催日時	平成16年8月27日(日) 7:00～15:00 予備日 9月3日(日) 7:00～15:00
主催者及び連絡先	世田谷区青少年委員会 水上安全担当リーダー 大谷
後援・協力者及び連絡先	後援:世田谷区教育委員会 望月 御園生(当日) 協力:日体大ライフセービング部(窓口は御園生) 支援:多摩川・リバーシップの会 事業担当 保坂 補佐 斉藤 事務局 杉浦 えのきん事務所 榎本
開催場所	多摩川河川、第三京浜下流側から東急ゴルフ場渡しの下流300m付近までのコースおよび左岸堤内地(東京都世田谷区)
安全・消防関連	消防庁救急隊、消防レスキュー(ゴム艇)が待機 近隣医療機関等への協力体制あり
占用許可・鍵	主催者側で取得

イ ベ ン ト 概 要	<p>手作りイカダによる73艇でのタイムレース(約 1,000m) 参加者は世田谷区内の小中学生と保護者約 400 名 イカダ乗船は 5 名以内で PFD 着装義務</p> <p>7:00 第三京浜下スタート地点に「下見メンバー」集合 7:45 安全部門担当者、全員ゴール地点に集合 8:00 全体ミーティング開始・「イカダ搬入開始」 8:30 各自分担場所に移動開始、 到着後現場チェックとミーティング</p> <p>9:30 「開会式」 10:00 レース開始 5 分間隔・3 艇同時発進 12:30 レース終了・昼食 13:30 「閉会式」 14:00 「閉会式終了」 15:00 までに退出、出口閉門施錠</p> <p>* 車の駐車について 入り口が3ヶ所あります。 スタート地点は東急自動車学校と第三京浜下から。 ゴール地点は、矢沢川付近から。 河川の通行は禁止されました。舟等の搬入を考え駐車してください。</p>
-------------	--

2. サポート内容

<p>RS への支援依頼内容</p> <p>使用材料一覧</p>	<p>レース参加者の水上・水中事故防止ならびに救難・救護、河川汚濁防止。尚、具体的なサポート体制の詳細は、えのきん事務所と青少年委員会、日体大、RSの4者が最善策を協議した上で当日最終決定。</p> <p>当日は日体大ライフセービング部学生と連携し、安全体制をとる。青年会議所・小中新任教師らはスタートとゴールの補助要員として参加。</p> <p>資材 手配調達担当者</p> <p>カヌー 5艇 (ダンサー、スラ艇、アドベンチャー、シットオンカナディアン)</p> <p>PFD 各自</p> <p>スローロープ 各自持参 + 5ヶ程度</p> <p>その他 ホイッスル各自</p>
<p>RS 側 サポート計画</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. イカダ・レース中の安全管理・コースの指示: レース区間に亘って陸上および水上に人員と救命艇を配置 漂流者が発生した場合には確保、引き上げを行う。 また、イカダ下およびエントラップメント等水中障害物への注意を喚起するとともに、事前にコースラインを指示する。 ザラ瀬が出現した場合には、脱出補助。 2. 河川の汚濁防止 イカダから離脱した部品や残骸を河川から回収する。 3. 溺水者・受傷者の身体確保、応急措置補助および救急隊への引渡し 消防庁救急隊・大脇病院出向者(医師・看護師)への引渡し しが責任分界点。 <p>* 原則は、参加艇がコース取り、操船等を行ないます。 安全面から、アシストやサポートが必要と判断したときには、艇の移動や静止等行なう。</p> <p>* スタート地点は、川に入ってからの上水安全サポート (舟の保持・PFDのチェック・安全、コースについての説明・笑顔)</p> <p>地点 コースの指示、危険箇所の回避 瀬への進入整理・転落者のサポート</p> <p>危険箇所の回避・瀬への進入整理・転落者のサポート</p> <p>コースの指示 コースの指示</p>

3. サポート体制

RSメンバーの集合時間	下見参加者は7:00に第三京浜下。(スタート地点)
集 合 場 所	それ以外はゴール地点のサポート参加者用テント付近に7:45集合

参加予定会員	中川、森田、加藤、堀、杉浦、福田、松原、斉藤、山田、平山、 多田、妹尾、金丸、保坂 14名
参加予定川友	米田 1名

総責任者・グループ責任者

渉 外 担 当	保坂
実施記録・写真撮影担当	福田
資 機 材 運 搬 管 理 担 当	杉浦
コ ー ス 下 見 事 前 ・ 当 日	斉藤・保坂
水 上 安 全 監 視	配置詳細は別紙参照
陸上から監視・連絡の伝達	杉浦・福田
役 割 分 担	当日はA～Gまで各担当責任者を決め、日体大等 と合同で安全サポートを行なう。

RS提供船艇と輸送方法	カヤック(ダンサー、スラ艇)・カナディアン・アドベンチャー・シットオンなど 5艇程度リバーから持ち込む。 備考:青少年委員会からゴムボート 2艇あり
RS提供資機材と輸送方法	PFD・スローロープは個人持参+5ヶ程度 備考:日体大ヘレスキューチューブの提供

4. その他

自動車運転者	堀、杉浦・松原・斉藤・金丸・多田・保坂(駐車表8枚確保) 備考:駐車券は保坂第三入り口で配布(AM7:00)
--------	---

服装・装備に関する注意事項	PFD、ホイッスルは必携。サポート参加者は基本的に、水に濡れても負担にならない衣服・足ごしらえで臨むこと。携帯電話はできるだけ持参(防水対策確実にお願いします) 日よけ、寒さ、給水対策は各自万全に。
その他の装備	会救急箱・PFD 予備3枚、(杉浦) クーラーボックス・飲料水予備(保坂) リバーシップの旗 (もうないですかね) 川の中にいると冷えてくるので出来たらウエットなどが望ましい。又、日焼け止め対策も大事です。 (備考:朝食は各自で済ませること。)

食事・飲料に関する注意事項	スタッフ用昼食は主催者側から支給。飲料水は主催者側の準備あり。持ち場が離れるので各自で確保してください。
---------------	--

注意事項その他	<p>事故等が万が一に起こったときは、単独で行動せず周りの状況を確認し、応援を頼み速やかに行動してください。</p> <p>自分の安全を第一に行動してください。又、常に周りの状況を把握・確認しながら行動することが大切です。</p> <p>関係者全員が全体の流れを把握し、各持ち場において担当者と協力して行なう。</p> <p>子供たちの心地好い緊張や達成感を大切にすること！</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 20px auto; width: fit-content;"> <p>一番は！ 笑顔を忘れないこと！！です。</p> </div>
---------	--

人員配置一覧

陸上・報道

福田（主にスタート地点）

杉浦（ゴール地点）

エリア A

米田

中川（保坂）

日体大 8名 青年会議所 若干名

エリア B

斉藤

日体大 1名 青少年委員、協力者 1名

エリア B

榎本

加藤、平山（必要によりカヤックでのサポート）

日体大 4名 青少年委員、協力者 2名

エリア C

山田

日体大 1名

エリア D（このエリアは、リバーからのサポートはしません。）

青少年委員

消防署（水上より船外機付ボート配置）

エリア E

金丸

森田

日体大 2名

青少年委員、協力者 1名

エリア F（青少年委員OBのゴムボートあり）

堀（アドベンチャー、カナディアン）

妹尾

松原

多田

日体大 4名

ゴール後のイカダの回収は、親父の会と学校新任教諭が行ないます。

エリア G

消防署（船外機付ボート配置）

保坂全体把握できるよう、一部フリーで行動させていただきます。

福田さんは、記録や全体の流れの確認の為陸上を中心にフリーで動いていただきます。

エリア B~C は、当日の水量によって、メンバーの人員配置を調整します。

現在では、B のところが、障害物があり危険と判断し、人員配置を多くしています。

エリア E~ゴールまで、カヌーでサポート。
状況によっては、妹尾さんスローロープ、イカダに投げてください。

*日体大 22~24名 リーダー 松本